

富山市におけるツキノワグマの出没記録（2019年）

著者	南部 久男, 清水 海渡
雑誌名	富山市科学博物館研究報告
号	45
ページ	107-109
発行年	2021-07-01
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=2031

資 料

富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2019年)*

南部 久男¹⁾, 清水 海渡²⁾

¹⁾ 富山市科学博物館登録ボランティア 939-8084

富山市西中野町一丁目8-31

²⁾ 富山市科学博物館 939-8084 富山市西中野町一丁目8-31

**Records of Asiatic Black Bear
(*Ursus thibetanus japonicus*) in Toyama
City, Toyama Prefecture in 2019**

Hisao Nambu¹⁾ and Kaito Shimizu²⁾

¹⁾ Toyama Science Museum volunteer, 1-8-31

Nishinakano-machi, Toyama 939-8084, Japan

²⁾ Toyama Science Museum, 1-8-31 Nishinakano-machi,

Toyama 939-8084, Japan

1. はじめに

富山市におけるツキノワグマの各年の出没状況は、本種の長期にわたる出没動向を知るための基礎資料となると考えられることから、2005年から継続的に富山市のクマの出没記録について報告してきた(南部, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019)。本稿では2019年の富山市におけるツキノワグマの出没状況を報告する。

2. 方法

富山市の2019年のクマ出没情報は、富山市農地林務課からデータの提供を受けた。また、公開されている情報(富山市, 2020)や富山県(2020a)の出没情報地図も参考にした。データは2019年の1~12月の出没情報をまとめ、項目等は南部(2007)にしたがった。また、データは付表1の判定Aを用い、その基準は南部(2007)による。

3. 結果及び考察

3.1. 2019年の富山市のクマの出没状況(表1, 付表1)

2019年のクマの出没は、富山市全体で492件の出没があった(表1)。地域別では、大沢野地域と大山地域が100件

を越し、それぞれ165件と107件であった。50件を越す地域は八尾地域の85件、細入地域の51件であった。これらの地域以外は50件未満で、富山地域37件、婦中地域30件、山田地域17件であった。

クマの出没があった月は、富山市全体で4月9日~12月21日であった(付表1)。季節的な出没状況は、春・夏(4~8月)は41件に対し、秋(9~12月)は451件と極めて多かった。秋は9月上旬から出没が見られ、10月下旬にはピークを迎え、11月に入ると減少し、12月の出没は僅かであった(表1)。

人身被害は、富山市では7件(軽傷8名, 重症5名)発生した(表1, 付表1, 富山県, 2019a)。地域別では、大山地域3件9名, 大沢野地域3件3名, 富山地域1件1名であった。月別では、9月1件1名, 10月2件2名, 11月4件10名であった。

各出没記録の詳細は、付表1としてSupplementary data (<https://doi.org/10.6084/m9.figshare.14384867>)に示す。

3.2. 2005~2018年の富山市の出没状況との比較

2019年の富山市のクマの出没状況を2005~2018年(南部, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019)の出没状況と比較する。2019年の春・夏の出没件数は41件で、2004年以降は最小が11件(2006年)~最大が55件(2008年)であり、40件を越す年は過去に5年間あったことから、2019年の春・夏の出没は比較的多かったと思われる。

2019年秋(9月~12月)は451件の大量出没があった(表1)。富山県では、秋のクマの大量出没は、2004年, 2006年と2010年に知られている(間宮・赤座, 2017; 富山クマ緊急調査グループ・日本クマネットワーク(JBN), 2005)。富山市でもこれらの年はクマの大量出没が見られた(南部, 2007, 2011; 富山クマ緊急調査グループ・日本クマネットワーク(JBN), 2005)。2004年は393件(合併前の旧7市町村の合計), 2006年は338件, 2010年は335件で、2019年秋は451件と出没件数の分かる2004年以降で最も多かった。

3.3. 2019秋の富山県のクマの出没状況

富山県(2019b)によれば、県内の2019年秋の堅果類の豊凶は、ブナ(15箇所)は全県で凶作, ミズナラ(16箇所)は県東部が凶作, 県西部が不作で、全県では凶作, コナラ(10箇所)は全県で不作であり、クマが大量出没

* 富山市科学博物館研究業績第582号

表1 富山市のクマの月別、地域別件数（2019年4月～12月）。

月	月別・季節別件数			地域別件数							人身被害		
	月別	月別詳細	季節別	富山	大沢野	大山	八尾	婦中	山田	細入	富山	大沢野	大山
4月	1	1	41							1			
5月	7	7					1	4	1	1			
6月	10	10			3		3	2		2			
7月	12	12			3	2	5			2			
8月	11	11			2		7	1	1				
9月上旬	86	10	451		2	1	6			1			
9月中旬		14			3	1	6			4			
9月下旬		62		1	16	10	16	4	6	9		1(1)	
10月上旬	256	90		5	30	20	17	6	1	11			
10月中旬		62		8	22	10	13	4	2	3		1(1)	
10月下旬		104		8	52	21	4	2	3	14		1(1)	
11月上旬	103	55		8	17	18	6	3	2	1	1(1)		1(3)
11月中旬		32		6	9	14		1		2			1(3)
11月下旬		16		1	4	7	1	2	1				1(3)
12月上旬	6	3			1	1		1					
12月中旬		2				2							
12月下旬		1			1								
計	492	492	492	37	165	107	85	30	17	51	1(1)	3(3)	3(9)

注1. 件数は、同一地点で目撃、痕跡があった場合は1件とした。

注2. 人身被害は、富山県(2019a)と付表1を参照した。件数と括弧に負傷者数を示す。

注3. 空欄は0を示す。

した2006年と2010年と同様に悪い状況とされた。富山市内の調査地点では、ブナは有峰（3個所）、大長谷とも凶作、ミズナラは、有峰（2個所並作、1個所不作、1個所凶作）、大長谷、桧谷、牛岳ともに凶作、コナラは猿倉が不作とされた。

富山県では、2019年のクマの出没は、合計919件で、4～8月は133件、9～12月は786件で、秋は大量出没が起き（富山県、2020a）、人身被害は県全体で9～12月に13件（重症10名、軽傷10名）発生した（富山県、2019a）。富山県のクマの大量出没年の秋（9～12月）の出没件数は、2004年1095件（富山県クマ緊急調査グループ・日本クマネットワーク、2005）、2006年707件、2010年1208件で、その他の年は、8～236件であった（富山県、2020b）。富山市でも前述のように多くの出没が見られた。2019年秋の富山県や富山市でのクマの出没は秋の堅果類の豊凶結果を反映していると考えられる。

4. 謝辞

クマの出没状況を提供いただいた富山市農地林務課、文献をご教示いただきました白石俊明氏に心より御礼申し上げます。

5. 引用文献

間宮寿頼・赤座久明、2017. 富山県におけるツキノワグマの出没状況と人身被害について（2004～2016年）. 富山県自然博物館ねいの里研究報告, (1) : 1-7. <http://www.toyamap.or.jp/shizen/tyouzyuugai/2017bear.toyama.pdf>. 2021年2月4日閲覧.

南部久男、2007. 富山市におけるツキノワグマの出没記録（2005・2006年）. 富山市科学文化センター研究報告, (30) : 109-126.

南部久男、2008. 富山市におけるツキノワグマの出没記録（2007年）. 富山市科学博物館研究報告, (31) : 109-126.

南部久男、2009. 富山市におけるツキノワグマの出没記録（2008年）. 富山市科学博物館研究報告, (32) : 161-169.

南部久男、2010. 富山市におけるツキノワグマの出没記録（2009年）. 富山市科学博物館研究報告, (33) : 147-153.

南部久男、2011. 富山市におけるツキノワグマの出没記録（2010年）. 富山市科学博物館研究報告, (34) : 177-191.

南部久男、2012. 富山市におけるツキノワグマの出没記

- 録（2011年）. 富山市科学博物館研究報告, (36) : 129-135.
- 南部久男, 2013. 富山市におけるツキノワグマの出没記録（2012年）. 富山市科学博物館研究報告, (37) : 16-169.
- 南部久男, 2014. 富山市におけるツキノワグマの出没記録（2013年）. 富山市科学博物館研究報告, (38) : 165-171.
- 南部久男, 2015. 富山市におけるツキノワグマの出没記録（2014年）. 富山市科学博物館研究報告, (39) : 141-15.
- 南部久男, 2016. 富山市におけるツキノワグマの出没記録（2015年）. 富山市科学博物館研究報告, (40) : 135-141.
- 南部久男, 2017. 富山市におけるツキノワグマの出没記録（2016年）. 富山市科学博物館研究報告, (41) : 113-120.
- 南部久男, 2018. 富山市におけるツキノワグマの出没記録（2017年）. 富山市科学博物館研究報告, (42) : 103-110.
- 南部久男, 2019. 富山市におけるツキノワグマの出没記録（2018年）. 富山市科学博物館研究報告, (43) : 101-108.
- 富山県, 2019a. 令和元年ツキノワグマによる人身被害の状況令和元年11月末現在. http://www.pref.toyama.jp/cms_pfile/00020161/01334116.pdf. 2021年2月8日閲覧.
- 富山県, 2019b. 令和元年度堅果類（ドングリ）の豊凶調査の概要について. http://www.pref.toyama.jp/cms_pfile/00022598/01456459.pdf. 2021年2月13日閲覧.
- 富山県, 2020a. 令和元年ツキノワグマ目撃痕跡情報. 最終更新日: 2020年2月13日. http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1709/kj00020161.html. 2021年2月4日閲覧.
- 富山県, 2020b. ツキノワグマ目撃・痕跡情報経年推移. http://www.pref.toyama.jp/cms_pfile/00018641/01456222.pdf. 2020年12月19日閲覧.
- 富山市, 2020. クマ出沒情報（平成31年）. <https://www.city.toyama.toyama.jp/norinsuisanbu/shinrinseisakuka/kuma/kumashutsubotsujoho31.html>. 2020年12月6日閲覧.
- 富山県クマ緊急調査グループ・日本クマネットワーク, 2005. 富山県における2004年のツキノワグマの出没状況調査報告書. p.112+CD.